

4月5日、西部カントリーエレベーター竣工式を開催 今年初夏の麦収穫より荷受開始

JA西三河は4月5日、西部カントリーエレベーターの竣工式を行います。

このカントリーエレベーターは、西部ライスセンター（米の乾燥調製を行う施設）をカントリーエレベーター（米に加えて麦の乾燥調製、貯蔵を行う）へ改装したものです。西尾市で近年伸びている麦生産への対応と生産基盤の強化を目的としています。

当日は竣工式の神事と合わせて起動式を開催。JA西三河の名倉正裕代表理事組合長がカントリーエレベーター起動のスイッチを押します。

【竣工式】

日時：4月5日(木) 午前10時～
場所：西部カントリーエレベーター
(西尾市西小柳町4丁目605)



建設作業中のカントリーエレベーター（2月中旬）

【西尾市の麦生産】

西尾市は、愛知県で新規に育成された多収性小麦「きぬあかり」への品種転換が進む中、大規模担い手農家の高い生産技術も相まって、近年では県内トップの年間生産量6,500トンを誇る一大麦産地となっています。

西部カントリーエレベーターの位置する西小柳町一帯は、見渡す限りの水田が広がる農業地帯。同カントリーエレベーターでは、同地区を中心とする平坂・矢田・寺津地区の農家より米・麦を荷受けします。

初の荷受けは、初夏（例年6月上旬ごろ）から始まる麦収穫。高品質の麦を収穫するためには、適期の収穫がとても重要です。今回のカントリーエレベーター化により、近隣農家の出荷負担・所要時間を軽減し、より高品質な麦を集出荷できるようになります。

系統施行	JAあいち経済連	
設計施工	(株)サタケ（建物・機械）	
事業名	平成28年度強い農業づくり交付金事業	
所在地	西尾市西小柳町4丁目605	
施設の主な整備内容	麦精選設備	6 t / 時間
	麦バラ出荷設備	7.5 t × 4基
	サイロ	350 t × 6基
	全自動自主検査設備	120□ × 1系列
	乾式集塵装置	
処理能力	総処理量	2,167 t（乾粒）
		1,928 t（乾麦）
	貯蔵能力	2,100 t